



宮司祝詞奏上

を正した宮司以下神職、氏子奉幣使、鎮国寺住職、主基地方風俗舞保存会、浦安舞奉仕者、氏子総代等が祓舎で身を清め御本殿へと参進。高向宮司が国家鎮護・皇室安泰・五穀豊穰を祈念する祝詞を奏上し、続いて氏子奉幣使の



主基地方風俗舞奉奏

四月一日・二日(水・木)両日に亘り春季大祭が装いも新たになった御本殿で齋行され、平日ではあつたが多くの参拝者で賑わいをみせた。
まず、三月三十一日午後五時より総社地主祭、同六時より宵宮祭をそれぞれ齋行し、一日からの大祭が無事齋行される様、祈念された。
小雨降りしきる中、一日午前十一時、正服に威儀

春季大祭 齋行



宗像



平成ノ大造営

時満ちて道ひらく

余滴

天皇后兩陛下下のパラオ共和国の行幸啓は、先の戦争の記憶と歴史を蘇らせるとともに、

未来に向けた平和への決意と両国のさらなる友好を深めるものとなった▼今年は終戦七十周年という節目の年を迎えるにあたり、隣国からは安倍総理の談話や歴史検証などで両国間の緊張状態が続いているが、靖国神社も様々な場面で注目されることとなるだろう▼そもそも靖国神社の社号は明治天皇の命名によるもので、「祖國を平安にする」「平和な國家を建設する」との願いが込められているのであるが、海外ではその意味もわからず、Mitsushima(戦争神社)と訳されたりしている。そのため、近年の海外における靖国神社に対する偏見は、今や内政干渉を遥かに超え、外交カードにまで発展してきている▼しかし、本来は靖国神社こそ最も平和を希求する神社であるし、今日の我が國の平和と繁栄は、平和をもっとも望んだ靖國の英靈たちの尊い命の上に成り立っていることを私たちは決して忘れてはならない。終戦七十周年を迎えるにあたり、今一度、靖国神社の本来の姿を考えていただければ幸いである。(敬)

神具・装束・授与品



装束店
〒600-8503 京都市下京区油小路通六条上る
フリーダイヤル 0120-075-980
授与品店
〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町23
フリーダイヤル 0120-075-820

木組の家 匠の技

総合建築業

株式会社 弘江組

〒811-3406 福岡県宗像市稲元4丁目20 電話(0940)32-2567

寺嶋輝次氏が奉幣詞を奏上した。次いで主基地方風俗舞保存会により昭和天皇御即位大嘗祭に由来する「主基地方風俗舞」、更に玄海中学校女子生徒により「浦安の舞」がそれぞれ優雅に奉奏された。

翌二日には午前十一時よ



玄海中学校女子生徒による浦安舞

り二日祭を斎行、海上安全・大漁満足が祈念された。また、みあれ祭等の海洋神事に功労ある各地区の漁業奉仕者に対し、宮司より感謝状と記念品が贈呈された。

祭典終了後には第二宮、第三宮、宗像護国神社へ宮司以下神職・参列者がそれぞれ参進し、各祭場にて祭典が斎行



献茶祭 (巫女の代表が御点前を披露)

された。宗像護国神社祭では福岡県護国神社田村豊彦宮司をはじめ、宗像・福津両市の遺族連合会をはじめ多くのご遺族の方々が参列するなか、護国の英霊をお慰め申し上げると共に遺族並びに氏子の幸福と恒久平和が祈念された。また、同刻、御本殿に於いて宗像大社交通安全講社祭が斎行され、講員皆様の今年一年の交通安全が祈念された。



護国神社春祭り

各奉仕者、

表彰者は次の通り

氏子奉幣使

寺嶋 輝次氏 (福津市須多田)

主基地方風俗舞奉仕者

【舞方】

清水 陽介

松井徳一郎

森 勝紀

松井 実

【歌方】

井上 光子

中野 正徳

中野 久志

吉田 敏幸

菊本 兼二

浦安舞奉仕者

宮本あゆな (玄海中学校一年生)

三苫 愛弥 ()

吉武 麻帆 ()

濱田 歩美 ()

海洋神事奉賛会事業功労者

灘邊 筆男 (宗像漁協・鐘崎本所)

岩瀬 誠 ()

永島 義弘 (同・神湊支所)

永島 好幸 (同・)

古賀 達也 (同・大島支所)

古賀 新悟 (同・)

安部 徳人 (同・地島支所)

村田 繁美 (同・津屋崎支所)

矢野 竹虎 (同・)

田畑 洋一 (同・)



氏子奉幣使 寺嶋輝次氏

第15回 沖ノ島清掃奉仕

四月十八日(土)、宗像大社氏子青年会(会長 嶺俊光氏)の会員二十八名が沖ノ島へ渡島し清掃奉仕を行った。

この清掃奉仕は、年に一度五月二十七日に約二〇〇名に及ぶ一般参拝者を受け入れる「沖津宮現地大祭」にあ

たつて実施され、本年で十五回目となる。

本年も晴天に恵まれ穏やかな波の中、午前八時に鐘崎港を出港、海上を進むこと約二時間で沖ノ島へ到着。直ちに海中で禊を行い、島の中腹に鎮座される沖津宮へ向かった。



沖津宮にて奉告祭を斎行した後、葦津禰宜より挨拶・説明があり、奉仕作業を開始。本殿周辺

鎮国寺「花まつり」 宗像大社から鎮国寺へ稚児行列

去る四月五日、鎮国寺花まつりが行われた。



立部住職による法話 (鎮国寺)

鎮国寺は、大同元年(八〇六)大陸より帰朝された弘法大師空海が、北海道中の御加護に感謝の意を捧げるべく、先ず当大社を参拝された。その折、屏風山に瑞雲棚引く風姿を觀られ、この地に一字の寺を建立「屏風山・鎮国寺」と号され、又当大社の神宮寺として栄えた名刹古寺である。

の清掃並びに倒れた樹木の伐採・水揚げ場の整備等、平素勤務している一名の神職では困難な作業を約二時間御奉仕頂いた。作業後は一同波止場で直会を行って労い、沖ノ島の幽玄な景観を拝しながら夕刻には鐘崎港へ無事到着、本年度の奉仕作業を無事終えた。

近年は一年を通じ四季折々の花を楽しめる名所としても知られる。この「花まつり」は、桜・ツツジ・しゃくなげ等の花々が見ごろを迎える、三月末日〜四月二十八日までの一ヶ月間、宗像観光協会主催により開催され、期間中の四月八日は、お釈迦様の生誕を祝う法会の「仏生会」にあたり、毎年この日



稚児代表の玉串拝礼 (祈願殿)

に近い日曜日に稚児行列が行われている。当日は雨模様の天候ながらも、幸い雨も上がり、稚児装束を装った子供達約一五〇名は午前十時、宗像大社祈願殿にてお祓いを受けた後、大社から鎮国寺迄稚児行列を行った。同寺では住職による法話や甘茶が振舞われ、子供達の健やかな成長を祈念した。

平成二十七年 春季奉納 剣道大会

四月五日、春季恒例の剣道大会が玄海中学校体育館にて行われ、小学生から中学生までの剣士たち約二〇〇名が日頃の練習の成果を競った。

午前九時の開会式には、参加者・審判員・保護者等多くの人が体育館に集合し、大会に先立ち当大社神職よりお祓いを受け、一同宗像大社を遙拝した。その後宗



像居合道同好会有志による模範演技が披露され、緊張感のある演武者の佇まいに見学者も圧倒され、緊張の面持ちであった。

試合が始まると、日頃稽古で鍛えた成果を発揮しようと、声を張り上げて相手に挑む姿が、印象的であった。体こそまだ小さいもの

の、必死の形相でくらくく様子は一人心の剣士の姿であった。

試合結果(優勝)

| 団体戦 | |
|-------|--|
| 【小学生】 | 河東少年剣道教室 |
| 【中学生】 | 男子 河東中学校 女子 城山中学校 |
| 個人戦 | |
| 【小学生】 | 1年生 西村 大地(白の里) 2年生 佐保 武蔵(玄辰館) 3年生 和多 顕伸(河 東) 4年生 横山 直哉(玄辰館) 5年生 松井 茉田奈(宗像東部) 6年生 大和 凌太(河 東) |
| 【中学生】 | 男子 元村 史龍(中央中) 女子 神谷 菜月(城山中) |

第三十六回 春季奉納 吟詠大会

四月四日(土)、春季恒例の神賑行事である奉納吟詠大会(主催・鶴洲流、宗家・河野鶴聲)が開催された。この大会は昭和五十一年より奉納されており、今年で三十六回を迎えることとなった。

午前十一時、本殿において鶴洲会会員約六十名が参集し、正式参

拝並びに奉納吟が行われた。奉納吟では国民道祖神の大神に、松口月城先生奉納の「宗像宮」を会員一同で献吟。

献吟後、一同は清明殿へと移動し式典が開催され、会員各人が日頃鍛えた自慢のどで吟題に沿った吟詠が順次披露された。午後四時には当大社における日程を終え、大社を後にした。



第44回「宗像大社短歌大会」のご案内

◆日時 平成27年11月7日(土)

○小中高生の部… 9:30~11:00

○一般の部…12:00~15:40

◆会場 宗像大社「清明殿」(宗像市田島2331)

◆応募方法

○詠草…小中高生は1人1首。

一般は1人2首まで可(未発表のもの厳守)。

B4の400字詰め原稿用紙の右半分に楷書で作品(固有名詞など難読語にはふりがなを)、左半分に郵便番号・住所(マンション名も)・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記のこと。小中高生は学校・学年も明記のこと。

○出送料…1首1,000円(定額小為替:何も記入しないで下さい)・小中高生は無料。

詠草集および大会資料を大会終了後にお送りしますので、送付用の切手82円×2枚を作品と同封して下さい。

○締切日…一般=平成27年8月31日(月)(当日消印有効)

小中高=平成27年9月10日(木)(当日消印有効)

○送り先…〒811-4175 宗像市田久5-25-17

「宗像大社短歌大会」実行委員会事務局 宛

【小】【中】【高】【一般】の別を朱書きのこと。

※事務局の電話=090(8393)3299

◆選者 小中高生の部=桜川冴子 (敬称略・50音順)

一般の部=青木昭子・奥睦美・桜川冴子・野田光介

※講演(一般の部)=恒成美代子 題目=「秀歌をよむ」

◆発表 平成27年11月7日(土) 大会当日

◆賞 小中高生の部=宗像市長賞他

一般の部=福岡県知事賞他

◆主催 「宗像大社短歌大会」実行委員会

◆共催 毎日新聞社

◆後援 福岡県・福岡県教育委員会・宗像市・宗像市教育委員会・福津市・福津市教育委員会・宗像大社・宗像大社氏子会

※応募によって得られた個人情報、本大会以外のご利用しません。



この海外御渡航にあたり、全国の神社では両陛下の御安泰を祈る

天皇皇后両陛下 パラオ共和国御訪問 御渡航安泰の諸祭事を齎行

天皇皇后両陛下におかせられては、去る四月八日より九日にかけて、御慰霊の思召しを以つて帛琉(パラオ)共和国を御訪問なされた。

この海外御渡航にあたり、全国の神社では両陛下の御安泰を祈るが祈念された。

臨時祭典を齎行しており、当大社においても御出発当日の四月八日午前十一時より本殿において「天皇皇后両陛下帛琉共和国御渡航幸啓安泰祈願祭」が高向宮司奉仕のもと齎行、御渡航の安泰と訪問国との友好推進が祈念された。

両陛下は八日夕刻にパラオに御到着。同国大統領夫妻と御会見され、同国主催の晩餐会ではパラオと同じく日本の委任統治領として戦禍に見舞われたミクロネシア連邦、マーシャル諸島共和国の両大統領と同席され、同国との交流も深められた。

翌九日は、日本軍約一万人、米軍約一七〇〇人が犠牲となったペリリュー島で日米双方の慰霊碑に供花し追悼の祈りを捧げられた。また事前に訪島して出迎える生還者の元日本兵や遺族等一人一人にお言葉を掛けられ、予定された日程全てを終え同日夜無事に還幸啓された。

4月1日付で、巫女三名が新たに奉職致しましたので、ご紹介致します

新人紹介

- ①名前 ②生年月日 ③出身 ④経歴(学歴)
⑤特技(趣味) ⑥奉職理由 ⑦抱負



① 城戸 麻美

- ②平成8年6月18日(18歳)
③福岡市東区
④私立 福岡工業大学付属城東高等学校
⑤音楽鑑賞・読書(小説)・陸上部に所属していたので体を動かすことも好きです。
⑥巫女がどんな仕事をしているのに興味があり、希望しました。
⑦参拝者の皆様にも宗像大社にお参りしてよかったと感じていただけるよう、常に笑顔で明るい巫女になりたいです。



① 藤田 直美

- ②平成8年8月29日(18歳)
③宗像市田久
④県立 玄界高等学校
⑤高校ではグランドホッケー部に所属し、全国大会にも出場しました。寝ること。(いつでも寝れます)
⑥幼い頃から祖母に連れられ大社に何度も参拝し、巫女さんに憧れるようになりました。
⑦笑顔を忘れず、参拝される皆様が、穏やかな気持ちになっていただけるよう精一杯頑張ります。



① 松元 愛美

- ②平成8年10月3日(18歳)
③遠賀郡芦屋町
④私立 折尾愛真高等学校
⑤バドミントン・音楽鑑賞・高校は保育科で子供が大好きです。
⑥神社にお参りし巫女さんの姿を目にし憧れを抱き、働きたいと思ったからです。
⑦常に笑顔で参拝者を迎え、丁寧な対応ができる巫女になれるように努力したいです。

時満ちて道ひらく

造営日記 ⑬

仮本殿を撤去

昨年末に本殿遷座祭を終え、そのままになっていた仮本殿を撤去する作業が三月二十三日から四日間かけて行われた。

今回は、社殿が設けられていた石積み部分の撤去と、取囲む植栽の移植を行った。

石積みの石は今後の境内整備の為に神社にて保管しており、植栽については第一駐車場付近に移植した。

今後は拝殿として使用していた建物も解体し、本殿西側が旧に復される予定。

先ず、植栽を取り除いた



第一駐車場付近へ移植中



石積みを撤去した



今は平地となっている



御造営奉賛者御芳名

(平成二十七年三月) (順不同・敬称略)

| | | |
|----------|---------------|------------|
| 三〇〇,〇〇〇円 | 福津市 若崎祥知子 | 北九州市 高瀬久喜子 |
| 二〇,〇〇〇円 | 太宰府市 吉武 剛 | 北九州市 高瀬有衣子 |
| 一〇,〇〇〇円 | 芦屋町 渡辺 信也 | 北九州市 高瀬圭二郎 |
| | 綾町 みちひらき綾分講 | 北九州市 田中 和雄 |
| | 徳留 教善 | 下関市 大木 憲司 |
| | 宇都宮市 佐藤 俊彦 | 新宮町 初井 政一 |
| | 北九州市 吉本 幸一 | 西宮市 瀧 修一 |
| | 北九州市 高崎 政弘 | 福岡市 牧 真志 |
| | 佐賀市 内川 眞三 | 福岡市 河合眞知子 |
| | 名古屋市 朝涼法律事務所 | 福岡市 河合 智聡 |
| | 代表弁護士 森田 尚男 | 福岡市 加藤 繁樹 |
| | 福岡市 相川 健 | 福岡市 竹田 一哉 |
| | 松本市 黒川 徹 | 小池 政美 |
| | 宗像市 力丸 正弘 | 三宅 秀和 |
| 五,〇〇〇円 | 茨木市 占部 博 | 横濱市 大塚 利雄 |
| | 柏崎市 大田健太郎 | |
| | 北九州市 長田 ゆき | |
| | 京都市 朝倉 正夫 | |
| | 神戸市 中村 吉貴 | |
| | 佐世保市 前田 陽子 | |
| | 墨田区(株)ベイビージェイ | |
| 三,〇〇〇円 | 福岡市 船越 法子 | |
| | 三鷹市 福地 潤子 | |
| 二,〇〇〇円 | 上毛町 入江聖奈子 | |
| | 宇部市 正木 恵司 | |
| | 大野城市 松井 七央 | |
| | 北九州市 高瀬松之助 | |

宗像大社氏子会

| | | |
|--------|-------|-------|
| 宗像市 | 占部 英和 | 寺島 満次 |
| 大後戸エミ子 | 寺島 康文 | |
| 谷口 光広 | 花田 一則 | |
| 昭夫 | 舟越 正之 | |
| 輝次 | 大和 信隆 | |
| 克己 | 山脇 康平 | |
| 孝弘 | 山脇 重樹 | |
| 直利 | 山脇 純 | |
| 伸行 | 山脇 慎司 | |
| 秀樹 | 山脇 昇 | |
| 英敏 | 山脇 雅暢 | |
| 博幸 | 山脇 芳邦 | |
| 寺嶋 学 | | |

(続)

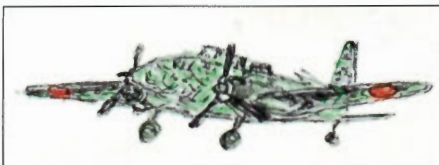
宗の寄物

299

いしいただし



福岡大空襲の事を前号で述べた。防空壕をこ



び出し、平尾の浄水池の
ところまで逃げた。照空
燈にB29が照らし出され
ている。高射砲弾が炸裂
する音、B29から落す電
波妨害の銀紙テープ、焼
夷弾の爆発音、ゴーパー
と、ものすごい音が街を包ん
でいた。浄水池にたどり着
いてどうしたか記憶にない
が、ここまですり着いた
だけで後はぐったりして眠っ
たのであろう。朝になって家
に戻ったが、帰る途中に焼跡
はあったが逃げたところで
はあまり被害はなかったよ
うだった。

たが、兵隊がいた大
名小学校は焼けてい
た。
兵隊の鉄兜かぶと、焼け
た鉄砲が散乱してい
た。焼夷弾のプロペ
ラ、筒状小型焼夷弾
があちこちに転がっ
ていた。小学校が焼
けたので、もう学校に行かな
いといいと一人喜んでいたら、
翌日から焼跡に残っている机
やイス運びをさせられた。

空襲警報が出される度に
授業が中断して下校させら
れた。小学
生でもこれ
で日本は勝っ
ているのだろ
うかと不安
だった。
さて十年

母や姉達は家の防空壕か
ら出て来て無事だった。住ん
でいた大名町に被害はなかつ

たが、兵隊がいた大
名小学校は焼けてい
た。
兵隊の鉄兜かぶと、焼け
た鉄砲が散乱してい
た。焼夷弾のプロペ
ラ、筒状小型焼夷弾
があちこちに転がっ
ていた。小学校が焼
けたので、もう学校に行かな
いといいと一人喜んでいたら、
翌日から焼跡に残っている机
やイス運びをさせられた。



昭和十九年八月二十日、
中国大陸成都基地からB29
爆撃機七十一機が北九州上
空に現われた。八幡製鉄所
を爆撃するため
である。これを迎
撃する日本軍機
は川崎二式複座
戦闘機「屠龍とつりゅう」で
ある。双発二人乗
りで山口県小月

ほど前私が中間市に用事で
行った際、市内でB29撃墜の
碑を見たような気がしたの
で、先日中間市に行って尋ね
たが折尾か植木方面ではな
いかということであった。宗
像の大画家中村研一は、陸
軍作戦記録画(一九四五)に
「北九州上空野辺軍曹機の
体当たりB29二機を撃墜す」
がある。

飛行場から飛びたつた。野
辺重夫、高木伝蔵乗機、
三十七ミリ砲を装備。が北
九州上空でB29と空戦、な
かなか撃墜できず、野辺機
はB29の編体飛行に「野辺
体当たり敢行」と無電をし
てB29に体当たりをした。

幸か不幸か二番機はたちま
ち錐もみ状態となって墜落
していった。ときに十七時
五十八分のことであった」
(樫田勇「B29撃墜記」光人
社二〇〇五) B29撃墜記を
著わした樫田勇は大正四年、
新潟県生・終戦までB29、
二十六機を撃墜。

この光景を空戦に参加し
ていた樫田勇は見ていた。
「私は思わず息を飲んで機上
から見守った。何分にも至
近距離である。あつという間
に、敵と見方の両機が激突
した。その刹那、二機は空中
において巨大な火の渦と化
した。同時に敵機の四個のエ
ンジンが飛散し、さらに野辺
機のエンジンもふつとび空中
には蜘蛛の子を
散らしたよう

野辺・高木両勇士を称え
て二人の愛機が墜落地に折
尾町民や小中学生達が海岸
から砂利や石を運んで慰霊
碑をたてている。八幡西区
大膳一丁目(旧折尾町)さつ
き台の住宅地の小高い公園
にある。また大膳公民館に
は野辺・高木両勇士の遺影
も掲示されている。



B29に体当たり 中村研一画

第六四五回

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メット



宗像市

宮田

山本 静子

万作の大きに咲けるは初めてと仰ぐ黄花に朝日さし来つ
愛情深く花を詠む作者。行為が感動を表すようにして
みた。(万作の大きく咲くは初めてと朝日に映える黄
の花仰ぐ)。

宗像市

日の里

秋吉 嘉範

石丸の丘に眠れし佐三翁誘致し大学永遠に見守る
尊敬する佐三翁と長く勤めた大学を詠んだ一首。石丸
の地名が効いている。二句へ丘に眠れる(四句へ誘致せ
し大学を)と。

北九州市

八幡西区

豊田 光子

人生の終着施設に要支援漢字を一字パズルで脳トレ
人生の終着と詠まれているが、作者のチャレンジ精神
は若々しい。言葉を整理し、晩年を過ごす住まう施
設にて漢字パズルで脳トレに励むとした。

福津市

若木台

山崎 公俊

小正月の雨きらきらしあたらしき屋根に踊れり宗像大社
葺き替えた屋根に光りながら落ちる雨。新年らしい景。
二句は切らずに(きらきらと)。

宗像市

田久

巻 桔梗

「捨てないで」立てし二枚の看板の前にまいにちゴミを捨てらる
マナーを守らない住人に悩む作者。初句の看板の言葉
は、「捨てるな」と強くする方が効果的だろう。

福津市

星ヶ丘

佐々木和彦

なんとなく逆さにしたる砂時計不毛地帯の砂の色なり
漠然とした不安の表現が上手い。砂の色には不毛地帯
ではなく砂漠の名が出せると良い。

宗像市

多禮

早川 祥三

稚児の列神の御前の親心ゆれる錦の鯉心字池
詠みたい対象が多いが、焦点を一つに絞って。(稚児行列
斎庭の池のほとり過ぐ見守る親の集まる前を)としてみた。

宗像市

池田

森 龍子

庭中の樹々躍り立ち満開の白梅闇に主役を果す
幻想的な景が魅力的。梅が際立つ様に樹々を抑え(庭木々
の躍れるやうな闇のなか主役を演ず咲く白梅は)とした。

北九州市

門司区

北野カズミ

心地よき三時間余のドライブの果てに気づきぬ免許証忘れ
あるあると共感。ドライブでは運転者が曖昧、(心地よ
く運転したる三時間の後で)に。

◆選者詠

小鉤とふやさしき留め具足袋にあり銀の舌もてあしくびを締む
ひつたりと橋掛り踏む白足袋の足は冥府に去りゆくとこ

第六一八回

俳句作品集

宗像市 武丸 白土 凌一

桜咲くメジロ飛び交う初春なる

宗像市 多禮 早川 祥三

早熟の日向大地を割る土筆

福岡県指定文化財
指定記念 特別公開

歌人たちの競演
宗像大社所蔵
五組の三十六歌仙図扁額

- ◆会期 ~平成27年5月31日(日)迄
- ◆時間 9:00~16:30 (入場は16:00迄)
- ◆会場 宗像大社神宝館3階展示室
- ◆拝観料 ○大人 500円
○大学・高校生 300円
○中・小学生 200円
15名以上は1名に付100円引

※三階展示室の展示替え作業のため、下記日程は
1階・2階展示室のみの拝観となります。
どうぞ御了承下さい。

◆会期後 6月1日(月)~3日(水)

5月祭事暦

- 1・15日 月次祭
午前10時~高宮祭、第二宮・第三宮祭
宗像護国神社祭(1日)
- 午前11時~総社祭
浦安舞奉奏(1日) 豊栄舞奉奏(15日)

- 【大島・中津宮】
3日 沖・中両宮春季大祭
午前9時~沖津宮大祭 於=大島・沖津宮通拝所
午前11時~中津宮大祭

- 5日 五月・浜宮祭
午前10時30分~浜宮祭 於=宗像市神湊 浜宮
午前11時~ 五月祭 於=宗像市江口 五月宮

- 27日 沖津宮現地大祭
午前7時 大島港 出港 於=沖ノ島・沖津宮

編集後記

先日、友人のプロボクシングの応援に行つて参りました。毎日、仕事を終えるとジムに通い練習をし、十一キロもの減量をしたそうです。勝利した友人の試合後の第一声、「もう試合したくない...」この言葉が印象的でした。勝つてうれいはずの彼の第一声...自分は何れほどまでに何かに打ち込んだことがあるのか...色々と考えさせられました。非常に良い刺激をもらったので、次回会った時には、刺激のカウンターパンチを彼に与えられるよう、神明奉使、また社報宗像の充実に努めて参りたいと思います。(鈴野)

発行所
宗像大社社務所・宗像会

住所 千八一一三五〇五
福岡県宗像市田島三三三二
電話 (〇九四〇)六二二三二一(代)
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延・鈴木祥裕
制作・印刷 ゼネラルアサヒ

毎月1日発行
定価1年送料共 1,000円